

# パシフィコ横浜 3R 活動優良事業所 認定基準項目への取組み

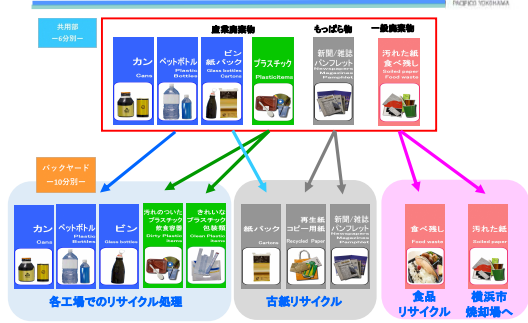
- ①分別排出の徹底 ②従業員への環境教育の実施 ③発生抑制の推進 ④再資源化の推進 ⑤消費者に対するPRの推進

## ＜組織の分別意識の醸成＞

### ①分別排出の徹底【項目1】

◆パシフィコ横浜施設内から発生する廃棄物を再資源化しやすいように分類するゴミ箱を設置し、バックヤードにて再分別化の選別作業をする

#### パシフィコ横浜の分別について



### ②従業員への環境教育の実施【項目2】

◆分別排出の徹底を図るために、廃棄物分別案内を作成



◆全従業員へ、廃棄物講習会を実施



## ＜見える化による発生抑制＞

### ③発生抑制の推進(廃棄物の見える化)【項目6】

◆分別、計量、記録により発生場所や種類、発生量の確認ができる仕組みを構築

2020年4月の廃棄物回収ノート。会議センター B1～2Fのデータを示しています。日別、種別（PETボトル、ビン、紙類、プラスチック、燃やゴミ、ガラス・陶磁器、金属くず）ごとの発生量を記録しています。

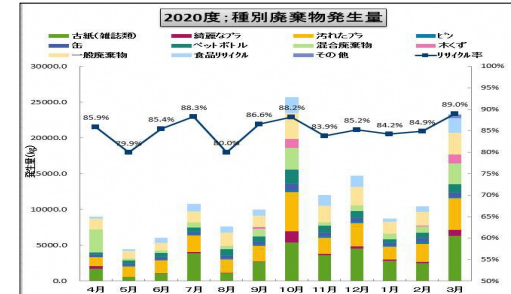
◆イベント毎の排出実績(利用者への実績提示・次回開催時の排出抑制)

パシフィコ横浜では廃棄物の「見える化」を実現

2020年10月と2020年12月の排出実績を比較した表と、2020年10月の排出物の内訳を示すピザチャート。合計152.7kgの削減を実現しました。

PETボトル	12%
一般廃棄物	21%
再生紙	18%
燃やゴミ	3%
食品リサイクル	3%
その他	43%

◆種類別の発生量及びリサイクル率の集計(月次・年次)



## ＜持続可能な社会の実現に向けて＞

### ④再資源化の推進【項目3】

◆パシフィコ横浜施設内の廃棄物(焼却プラ・食品残渣)を燃料とする電力を臨港パークへ供給する仕組みを構築



### ⑤消費者に対するPRの推進【項目10】

◆パシフィコ横浜から発生する廃棄物のリサイクルフローを作成し 100%リサイクルに向けた取り組みをPR

(※会議センター2階及び展示ホール2階に設置)

